

## 中1ギャップ解消プログラム開発事業「小学6年生による合同授業」 報告書

- 1 日時 平成28年2月10日(水) 9:30~14:45
- 2 場所 国立淡路青少年交流の家
- 3 出席者 137名(小学生122名、引率関係者15名)
- 4 講師 合同授業「英語」 南淡中学校 藤田美穂教諭、レベッカ外国語指導助手  
合同授業「社会」 南淡中学校 江本一之教諭  
合同授業「保健体育」 南淡中学校 窪田 梓教諭  
コミュニケーション実習 交流の家職員
- 5 日程 9:30 開会式  
9:40 コミュニケーション実習1  
10:10 合同授業①  
11:05 合同授業②  
12:00 合同授業③  
12:50 昼食  
13:35 コミュニケーション実習2  
14:35 閉会式  
14:45 終了

### 6 内容

#### 【コミュニケーション実習1, 2】

- ・男女別の12グループを作り活動を行った。
- ・実習1では、「キャッチ」「ラインアップ」「フープリレー」を行った。短時間ではあったがグループ内の雰囲気や和らぎ、徐々に会話をする子どもたちが増えてきた。
- ・実習2では、「キーパンチ」「ペーパータワー」「振り返り」を行った。グループで一つの課題をクリアすることを目指していく中で、協力することの必要性やコミュニケーションをとる上での課題を感じ取る活動となった。
- ・振り返りでは、本日の活動を振り返り「自分自身ががんばれたこと」「グループでがんばれたこと」を用紙に記入し、グループ内で発表した。
- ・コミュニケーション実習を重ねていくたびに、子どもたちの会話が弾み、精神的な垣根が取り払われていた。中には、違う学校の児童と肩車をしあって課題解決に取り組むなど積極的に交流が行われるようになった。



フープリレー



ペーパータワー



振り返り

### 【合同授業①②③】

- 全体を3つのグループに分け(1グループ40名程度)「英語」「社会」「保健体育」の3授業を45分ごとに交代して受けた。
- 英語は、「カードゲーム」「Head down & Thumb up」というゲームを取り入れ小グループで英会話を体験した。
- 社会は、「世界の地理」「最近のニュース」をテーマとして学んだ。
- 保健体育は、「ダンス」を取り入れて表現活動を体験した。
- いずれの授業も、交流ができるように先生方が工夫しており、子どもたちは中学校の先生が行う授業を楽しいものだと感じて終えることができた。

## 7 成果と課題

- 子どもたちからは、コミュニケーション実習及び合同授業共に好評であった。また、先生方からは、継続を望む声が出されたことはよかった。
- 今年度、中学校の先生方が授業をしたことで、今まで以上に中1ギャップ解消を狙いとした内容が前面に出て良かった。
- 南淡中学校区小中連携推進協議会で各学校の先生方と連携を取りながら計画できたことはよかった。
- 「中学校へ行くのが楽しみになった？」の問いに、なった・ややなったと答えた者が98.3%おり、事業を終えた現在の思いとして子どもたちが前向きにとらえていることはよかった。
- コミュニケーション実習の時間が十分に取れず、後半部分が窮屈になったので、全体の時間配分としては、合同授業は2時間で計画し1時間分をコミュニケーション実習や昼食時間に配分するのが良かったように思う。
- 昼食時間を長くしてほしいとの意見が出ており、従来の枠にとらわれない柔軟な時間設定をするべきであった。(ただし別の入所団体との調整が必要)



英語「Head down & Thumb up」



社会「世界の地理」



保健体育「ダンス」



昼食タイム